

2 实践事例

高等学校

(7) 高等学校（国語科）

校種	高等学校	学年	1年	教科等	国語総合	キーワード	インターネット
単元名	現代社会における問題点について考えよう。					指導する時間	全5時間
本時のねらい	インターネットの普及によって起こる問題点を筆者の考えを踏まえながらグループで話し合い、ネットワークの公共性を維持するために、主体的に行動しようとする態度を育成する。						
使用する資料	評論「ネットが崩す公私の境」（黒崎政男） 高等学校国語総合現代文編（三省堂）					指導事項	
						i5-1：ネットワークの公共性を維持するために、主体的に行動する	

高等学校第1学年 国語科（国語総合）学習指導案

- 1 単元名 現代社会における問題点について考えよう
評論 「ネットが崩す公私の境」（黒崎政男）

2 単元（題材）について

本単元の指導事項は、A（1）ア「話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。」と、エ「話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。」を設定する。

本教材は、インターネットの影響によって「公」と「私」の境界が不明瞭になったことや、その出現によって誰もが「著者」となれるようになったことの弊害を批判した評論である。そこで、本教材を導入として「インターネットの普及によって起こる問題点」についての自分の考えをまとめ発表したり他の生徒の考えを聞いたりする言語活動を通して、ネットワークの公共性を維持するために主体的に行動しようとする態度を育てたい。

また、現在、携帯電話・スマートフォンを持つ生徒は、「情報社会」の渦中にあるといえる。情報伝達の手段が電子メディアへと移行しつつある今日、「情報社会」を担う存在となる生徒たちに、電子メディアの利点だけでなく負の面にも注意を向けさせ、そうした時代を生き抜くうえで必要となる確かな視点について深く考えさせる契機としたい。

3 単元（題材）の目標

- ① 教材に興味をもち、話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成する。
- ② 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
- ③ 目的や場に応じた話し方や言葉遣いを理解する。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
教材に興味をもち、話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成しようとしている。	①教材に興味をもち、話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成している。 ②相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。	目的や場に応じた話し方や言葉遣いを理解している。

5 指導と評価の計画（全5時間）

時数	活動内容	評価				
		関	話	知	評価規準	評価方法
1	○語句の意味を確認の上、全体の構成をとらえる。 ・第一段落から第二段落において、「筆者」の権威とその崩壊を読み取る。	○			教材に興味をもち、話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成しようとしている。	観察 ノート
1	○語句の意味を確認の上、全体の構成をとらえる。 ・第三段落から第四段落において、インターネットの利点と欠点を読み取る。	○			教材に興味をもち、話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成しようとしている。	観察 ノート
1	○教材や関連図書などを参考に「インターネットの普及によって起こる問題点」について自分の考えを作文（800字程度）にまとめる。		◎		教材に興味をもち、話す内容に対しての認識や態度を自らの内部に形成している。	作文
1 本時	○「インターネットの普及によって起こる問題点」についての作文をもとに、グループ協議を行った後、クラス全体で意見交流を行う。		◎	◎	・相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。 ・目的や場に応じた話し方や言葉遣いを理解している。	観察

1	○前時の活動や関連図書などを基に、「インターネットの普及によって起こる自分と世界の関係」について自分の行動を振り返り、日常生活にどう繋げるかについて自分の考えを作文（800字程度）にまとめる。		◎	相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。	作文
---	--	--	---	---	----

6 本時の指導（第4時）

（1）本時の目標

インターネットの普及によって起こる問題点について、グループで協議した後、クラス全体で意見交流を行い、ネットワークの公共性を維持するための自己の在り方について考えを深める。

（2）本時の評価規準

- 相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。（話す・聞く能力）
- 目的や場に応じた話し方や言葉遣いを理解している。（知識・理解）

（3）学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価 (観点、方法等)
導入	○ インターネットの普及によって起こる問題点についてグループで意見交流をすることを理解する。	・作文「インターネットの普及によって起こる問題点」（800字程度）を基にグループで協議をすることと、筆者の考えを押さえて自分の意見を発表しあうことを確認する。	

展 開	○ インターネットの普及によって起こる問題点について、自分の考えをグループで発表し協議する。	・筆者の考えを押さえているかを確認するように指導する。その後、自分の意見をしっかり発表するよう指導する。	相手の話の内容についての評価を通して得た優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。【話す・聞く能力】(観察)
	○ インターネットの普及によって起こる問題点について、各グループで協議した内容をクラスで交流する。	・グループで協議した内容を各グループ2分で発表する。 ・メモをとりながら意見を聞くことを指導する。 ・グループ協議で、表面化しているトラブルだけでなく可視化できないトラブルにまで言及されていない場合は、次のグループ協議で考えるように指示する。	
	○ 最初のグループでの協議やクラスでの意見交流を通して自分の考えの変化について、グループで意見交流をする。	・最初のグループでの協議やクラスでの意見交流を通して自分の考えを見直したり、深めたり、広げたりするように助言する。	
ま と め	○ 次時の予告 ・本時の活動や関連図書などをもとに、「インターネットの普及によって起こる自分と世界の関係」について自分の行動を振り返り、日常生活にどう繋げるかについて自分の考えを作文(800字程度)にまとめることを聞く。	・各生徒の作文をまとめ、全員に返すようにすることを伝える。	

(8) 高等学校（ホームルーム活動）

校種	高等学校	学年	全学年	教科等	LHR	キーワード	インターネット投稿
題材名	情報社会における自分の責任や義務				指導する時間	1時間	
本時のねらい	インターネットを利用したSNS等の投稿がどのような影響を他者や自分に及ぼすかを知り、自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識をもち、情報社会における自分の責任や義務について考え行動できる態度を育てる。						
使用する資料	「情報の記録性、公開性の重大さ」出典：文部科学省 情報化社会の新たな問題を考えるための教材～安全なインターネットの使い方を考える～ 動画教材 http://jouhouka.mext.go.jp/information_moral_manual.html				指導項目 a5-1:情報社会において、責任ある行動をとり、義務を果たす		

高等学校 学級活動指導案

- 1 題材 「情報社会における自分の責任や義務」
内容 (2) ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任

2 題材設定の理由

本題材は、ホームルーム活動の内容(2)適応と成長及び健康安全 ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任に関わる活動として、生徒のインターネット利用の現状から、社会の一員としてその行為に自己責任が求められることを理解させ、社会的な自立を促すとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度と能力を養うことをねらいとしている。

インターネットを利用したSNS等への投稿は、スマートフォン等の普及から容易に、誰もが行えるようになった。そのことから、安易な自分本位の投稿が社会問題となっている。学校教育においてインターネットを利用した投稿のモラルやリスクを幅広い視野で考え、知識をもって正しく利用する姿勢や態度を身に付けることが大切である。また、利便性と危険性の両面に気付くことにより、正しく使うことの重要性を認識させたい。

具体的には、インターネットを利用したSNS等の投稿がどのような影響を他者や自分に及ぼすかを知り、自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識をもち、情報社会における自分の責任や義務について考え行動できる態度を身に付けさせたい。

併せて、一度インターネット上に出回った情報は回収不可能だということ、それが将来の自分に影響を及ぼすこともあることなども考えさせたい。

3 指導のねらい

インターネットを利用したSNS等の投稿がどのような影響を他者や自分に及ぼすかを知り、自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識をもち、情報社会における自分の責任や義務について考え行動できる態度を育てる。

4 評価規準【学級活動（2）の評価規準】

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち、自主的、自律的に日常の生活を送ろうとしている。	日常の生活における自己の課題を見出し、自己を生かしながら、よりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	集団や社会への適応及び健康で安全な生活を送ることの大切さや実践の仕方、自他の成長などについて理解している。

5 指導の過程

（1）事前の指導と生徒の活動

活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
携帯電話、スマートフォン等の利用状況についてのアンケート調査に答え、自分の問題について考える。	クラスの生徒の問題の状況を調査等により確認し、家庭へアンケート実施のお知らせ、調査結果を基に家庭で話し合いをもってもらおうこと等を依頼しておく。	【関心・意欲・態度】 情報社会に関心をもち、携帯電話、スマートフォン等のトラブルを身近な問題として受け止めている。（アンケート調査）

（2）本時の指導と生徒の活動

① 本時のねらい

インターネットでの投稿が他者や自分に及ぶ影響を知り、適正な行動の在り方を考える。

② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価（観点，方法等）
活動の開始	○携帯電話、スマートフォン等の利用状況やそれにまつわるホームでの実態や各自の考えを知る。	・事前アンケートを基に、ホームでの状況がどうなっているのかを知らせる。 ・日頃経験しているインターネット上でのやり取りのプラス面、誤解を招いて困るなどのマイナス面を最近の新聞記事等を利用してインターネット上で行き違いが刑事事件に発展している例を示すことによって気付かせる。	
	○本時の目標を知り、課題解決の心構えをつくる。	・本時の活動の概要を簡潔に説明し、ねらいを提示する。	
	本時の目標：インターネットでの投稿が他者や自分に及ぶ影響を考える。		

<p>活 動 の 展 開</p>	<p>○提示動画を視聴する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ストーリー①：情報の記録性、公開性 ストーリー②：情報の公開性、記録性 ストーリー③：肖像権、情報の公開性、記録性</p> </div> <p>○各自がワークシートに考えをまとめる。以下の点について各自の考えを発表し合う。 「投稿された写真は今後どうなるのか」 「写真は回収できるのか」 「自分の将来にどのような影響が及ぶか」</p> <p>○グループで話し合う。</p> <p>○全体で共有する。 グループごとの発表を聞き、新たな考えや思いがあったら追加発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を否定したり、同意を求めたりすることのないように指示を与える。 ・問題点に気付かない生徒には、肖像権に触れる実例で他者の権利の説明を加える。 ・法律等だけでなく、文言による他者への影響にも配慮できるように事例をあげ助言する。 ・ホームの実態や指導者の意図により必要に応じて①～③の動画を選択して視聴する。(①～③を活用する場合は、ストーリー毎に考えさせると混乱がない。) ・インターネット上に流出した情報は回収できないこと、それが友達や自分の将来に影響を及ぼす可能性があることに気付かせる。 <p>・危険性を最小限に留め、利便性をできるだけ失わない工夫について話し合いが進むように助言する。</p>	<p>【思考・判断・実践】 責任あるSNSの利用の仕方等について考え、理由を示して自己の意見を述べている。</p> <p>【観察・ワークシート】</p>
----------------------------------	--	---	---

活動のまとめ	<p>○解説教材を視聴する。 インターネットを利用したトラブルがどういう影響を及ぼすかを知る。情報の漏えい、改ざん、なりすまし等、インターネットの特性から、他者や社会への影響を知る。</p> <p>○全体で共有する。 ・正しく使うことでインターネットはその利便性が向上することを知る。 ・自分の発信が企業や社会にも影響を及ぼすことがあることを知る。</p> <p>○これからどのようなことに注意して、SNSなどを利用していくか、情報社会において、自分はどのような行動をとるべきかを考え、ワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・影響が広範囲であり、将来に渡るものであることを押さえる。 ・生徒のまとめを机間指導により探り、本時のまとめとなる生徒を指名する。 ・リスクや危険をことさら強調せず、自分の意思で回避できるものであること、インターネットの利点にもふれ、プラス面・マイナス面からまとめを行う。 ・情報社会の一員として、社会的な責任があることについて意識を醸成する。 	<p>【関心・意欲・態度】 情報社会の一員として、責任ある行動を取ろうとしている。 〔観察・ワークシート〕</p> <p>【知識・理解】 情報社会で適正な活動を行うための基本的な考え方を理解している。 〔ワークシート〕</p>
--------	---	---	---

6 事後の指導と生徒の活動

生徒の活動	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
SNSの利用の仕方等について、自分で決めたことの実践状況や家庭で話し合ったことを報告し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・一定期間経過後、実践状況や家庭での話し合いの状況について振り返る場を設ける。 ・グループ内で、互いのよい点を認め合うことを通して、実践への意欲を高める。 	<p>【思考・判断・実践】 情報社会の一員としての自覚を持ち、適正な行動の仕方について考え、<u>実践している</u>。（観察）</p>

7 準備物

ワークシート

8 備考 動画教材

https://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpage&v=tDuMdiMoKlg&list=PLGpGsGZ3lmbA0d2f-4u_Mx-BCn13GywDI

《事前アンケート》

1. あなたは、携帯電話・スマートフォンを持っていますか。 はい ・ いいえ

※「いいえ」と回答した人は以上です。「はい」と回答した人は以下についても回答してください。

2. あなたは、インターネット(SNS等)を利用していますか。 はい ・ いいえ

3. あなたは、インターネット(SNS等)に写真を投稿したことがありますか。 はい ・ いいえ

4. あなたは、インターネット(SNS等)で何かトラブルにあったことはありますか。あった場合はどのようなトラブルにあったか具体的に書いてください。

5. あなたは、インターネット(SNS等)にはどんな良い面があると思いますか。

6. あなたは、インターネット(SNS等)にはどんな悪い面があると思いますか。

7. その他、インターネット(SNS等)で気になることがあれば、書いてください。

《ワークシート》

_____年 _____ホーム _____番 氏名_____

1. 投稿された写真は今後どうなると思いますか。具体的に書いてください。

個人の意見	グループの意見
メモ欄(感想等)	

2. 写真は回収することができると思いますか。また、そう思ったのはなぜですか。

個人の意見	グループの意見
メモ欄(感想等)	

3. 自分の将来にどのような影響が及ぶと思いますか。

個人の意見	グループの意見
メモ欄(感想等)	

4. 情報社会において、SNSなどを利用する場合、どのような行動をとるべきだと思いますか。

個人の意見	グループの意見
メモ欄(感想等)	

5. これからあなたが、SNSなどを利用する場合、どのようなことをしますか。(理由もあわせて)

--

※SNS・・・ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略